

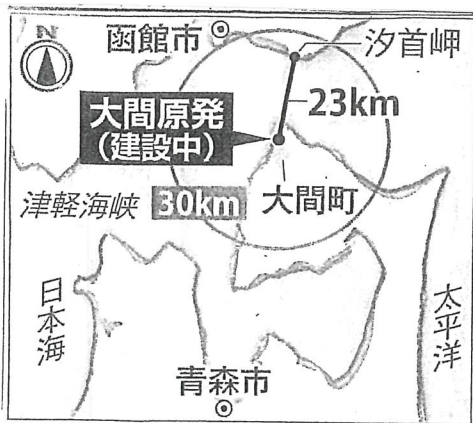
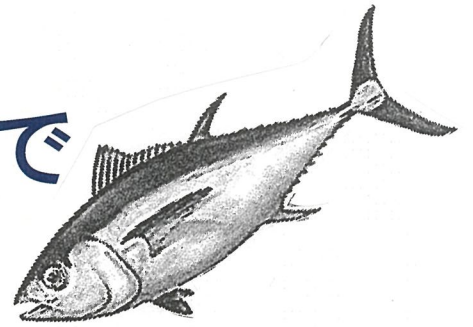
小出 裕章氏 講演会

「フルMOXの大間原発で

事故が起こったら

函館を含む道南、下北半島は

どうなってしまおうか」



50km圏内の人口は、青森側が約9万人、北海道側は約37万人。

建設中の大間原発は使用済み核燃料から取り出したプルトニウムとウランを混ぜた「MOX燃料」を100%使う世界初の「フルMOX原発」で、出力は約138万キロワットと大型。



2023年

6月10日(土)

午後17時

函館アリーナ

参加費無料(資料代300円)

主催 大間原発訴訟の会

函館市松蔭町1-12(函館YMCA内)

連絡先 070-5285-1071(事務局)



小出 裕章(こいで ひろあき)氏のご紹介

1949年東京上野生まれ。元京都大学原子炉実験所(現・京大複合原子力科学研究所)助教で原子力工学を専攻し2015年退官。

3.11福島原発事故を受け、初期の段階で格納容器破壊の可能性について指摘し、「原発事故と今後を憂うサイエンティスト有志」に加わり、内部被曝の問題を提起し、幼児や妊婦などの置かれた状況を改善するよう提言を行う。

2011年5月には参議院行政監視委員会の参考人として、政府のこれまでの原子力政策についての意見を開陳し、巨大科学を扱う科学者としての倫理を全うしようと発言し続けてきた。